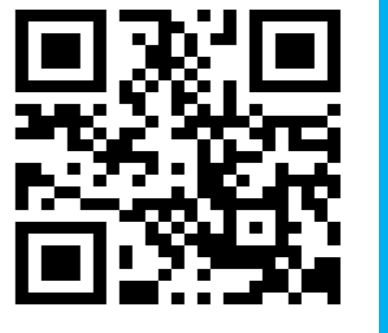




令和2年度 宮崎中小企業大賞表彰
株式会社キヨモトテックイチ



会社概要

創業者 昭和3年5月
代表取締役社長 清本 康夫
従業員 34名
業種 生産用機械器具製造業
・省力化機器の設計製作とメンテナンス事業
・最新技術装置の開発、設計製作、販売
所在地 日向市亀崎東1丁目25番地1
TEL 0982-52-5258
FAX 0982-52-5773
URL <http://www.tech-1.co.jp>



代表取締役社長 清本 康夫

表彰理由

- ・省力化機器の設計製作とメンテナンスのソリューション事業部門及び土木、漁業、医薬品、化学、食品など様々な分野の最新技術装置の開発に積極的に取り組み成果を上げている。
- ・魚自動活け締め脱血処理装置、マイクロバブル発生装置、細胞培養酸素供給マイクロバブルスパージャーなど民間や公設試験研究機関と連携した技術開発の取り組みは、他の企業の模範となる。
- ・細胞培養酸素供給マイクロバブルスパージャーは、培養細胞を傷つけることなく、十分な酸素を供給できるため、ワクチンを短時間で安定的に生産することが可能で、この技術は新型コロナウイルス感染症のワクチン開発にも有用なものであり、同社の優れた技術開発力は今後の成長が期待される。



会社外観

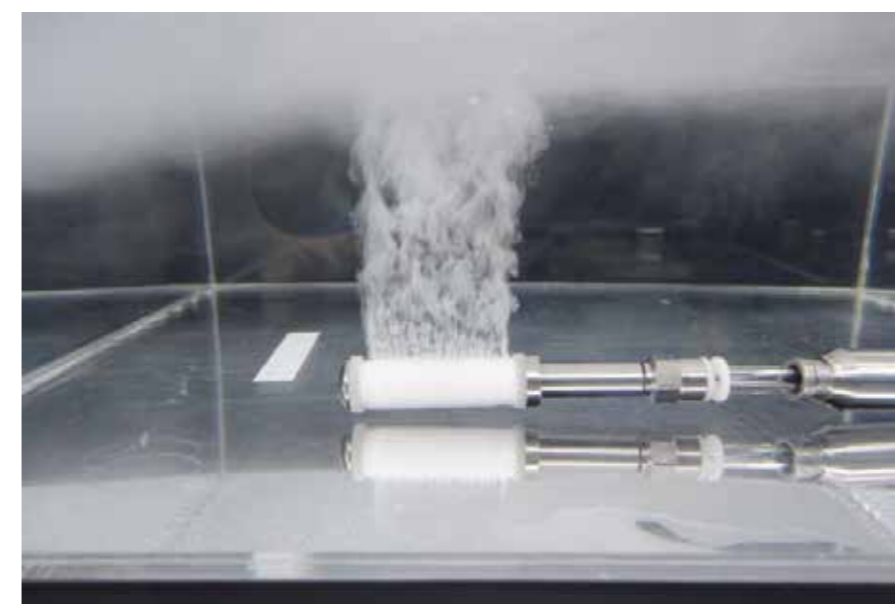
省力化機器の設計製作やオンリーワンの最新技術装置を開発！

爆薬遠隔装填装置



- ・含水爆薬と込め物を遠隔操作で自動装填
 - ・遠隔装填で安全な作業
 - ・エア圧送で密装填を実現
- 全国のトンネル工事に使用実績があり、高速道路や新幹線工事にも使用されている。

細胞培養酸素供給マイクロバブルスパージャー



マイクロバブルスパージャー



抗体医薬製造を変える
バイオリクター

マイクロバブル発生装置の技術を活用し、バイオ生産に必要な動物細胞培養装置の心臓部である「マイクロバブルスパージャー」を実用化し、日揮(株)(横浜市)及び佐竹化学機械工業(株)(埼玉県)と共同でバイオ・メディカル分野への事業展開を図っている。
バイオ医薬品は動物細胞による薬物(ワクチンなど)生産能力を利用しているが、マイクロバブルスパージャーは培養細胞を傷つけることなく十分な酸素を供給できるため、薬物を高い効率で安定的に生産できることになる。

魚自動活けしめ脱血処理装置



カツオの漁獲量が全国上位であり、品質を維持するため、船上に設置できるコンパクトな自動活け締め脱血装置を開発し、県内のみならず全国に製造販売している。現在では、カンパチ、ハマチ、タイ用装置まで販路を拡げている。

刃物式自動活けしめ脱血装置

特徴: 魚を寝かせた状態で投入し、センサーによって頭部の固定が検知されると刃物が魚の鰓の上部に刺さり、骨を断ちきって活けしめ処理ができる。

利点: 魚を左右どちらの向きでも投入できる。魚の大きさに多少の誤差があっても確実にしめることができる。船上、陸上ともに設置可能。

ドリル式自動活けしめ脱血装置

特徴: 魚を立てた状態で投入、サイドプレートで固定した後、上部のドリルにより頭部を突き刺し、延髄を破壊してしめる。

利点: 船上でも陸上でも設置できる。肉食の変化が著しい魚に対して有効。

メンテナンス事業



調査や点検をすることで欠陥を早期に発見し、メンテナンスをおこなうことで機械や設備の寿命を延ばすことができる。
様々な分野の機械や設備、装置に関してメンテナンスが可能。